

# R7校内研究 理科サークル



## 理科の授業における

「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

# 1 理科の授業における 研究主題の目指す児童像

## 理科のテーマ

### テーマ①

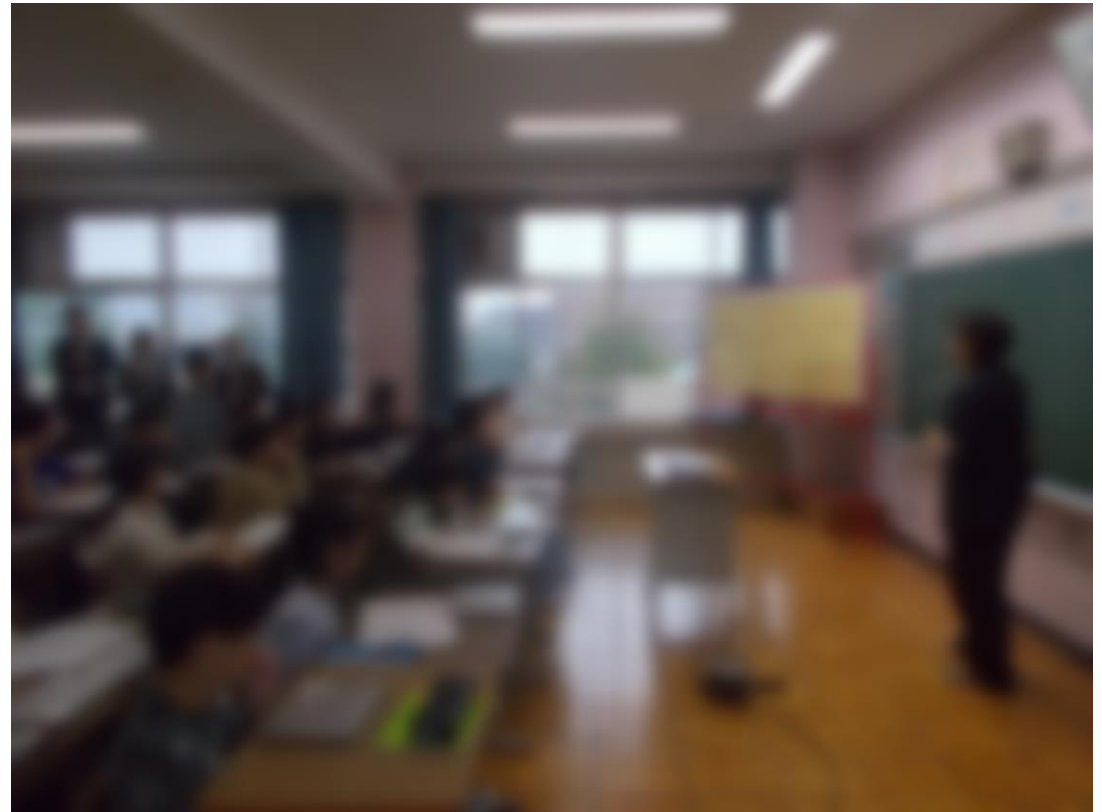
「理科の見方・考え方をはたらかせて、主体的に問題解決する児童の育成」

### テーマ②

「問題解決の過程を批判的に思考する児童の育成」

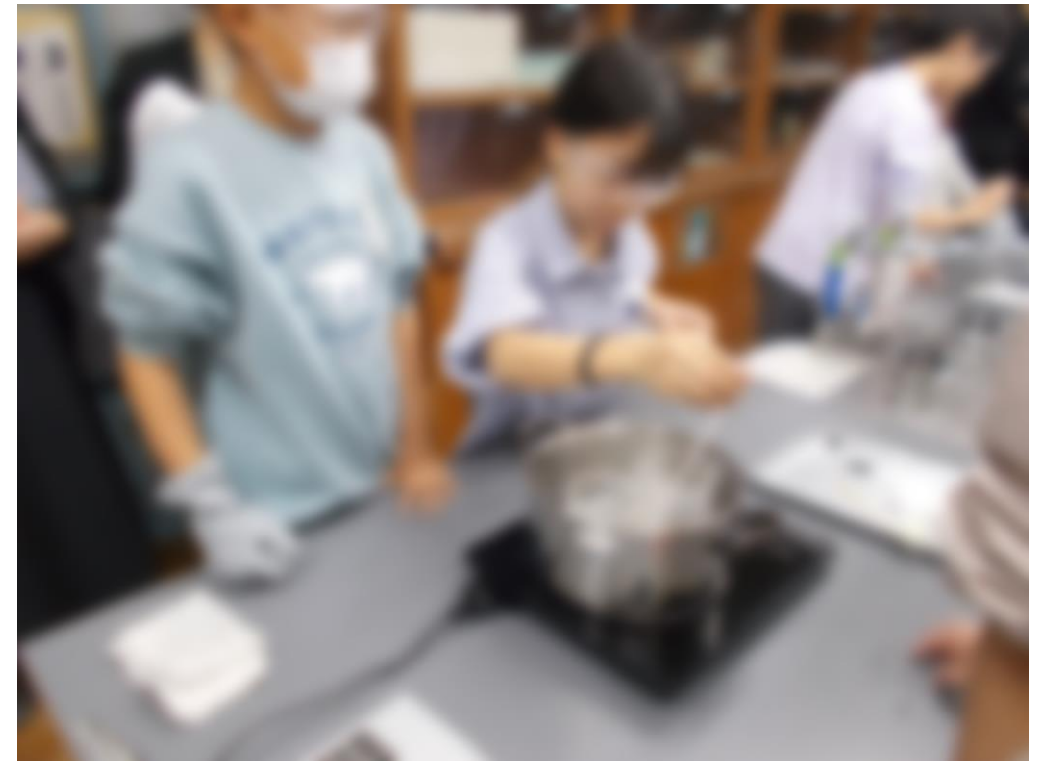
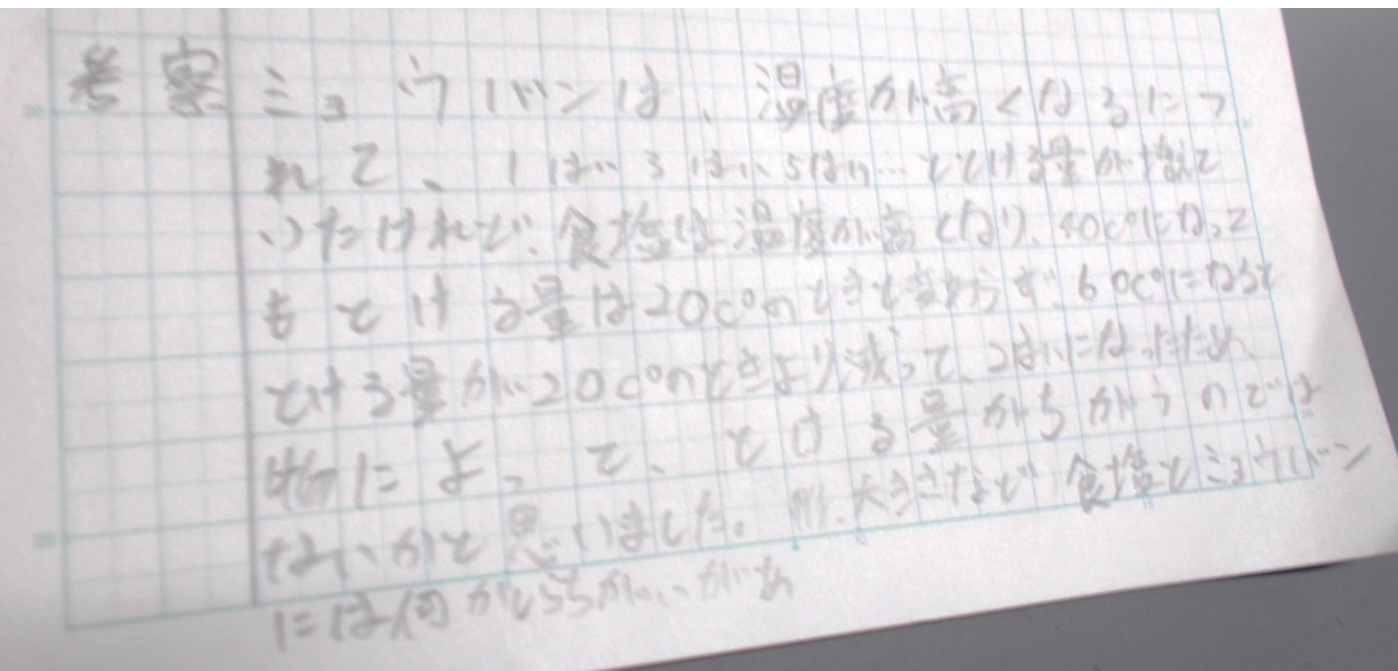
## <第4学年「物のあたためり方」時岡教諭>

- ・ 素朴な疑問について話し合う時間の設定
- ・ 金属、水、空気の比較
- ・ 「違い」に目を向ける



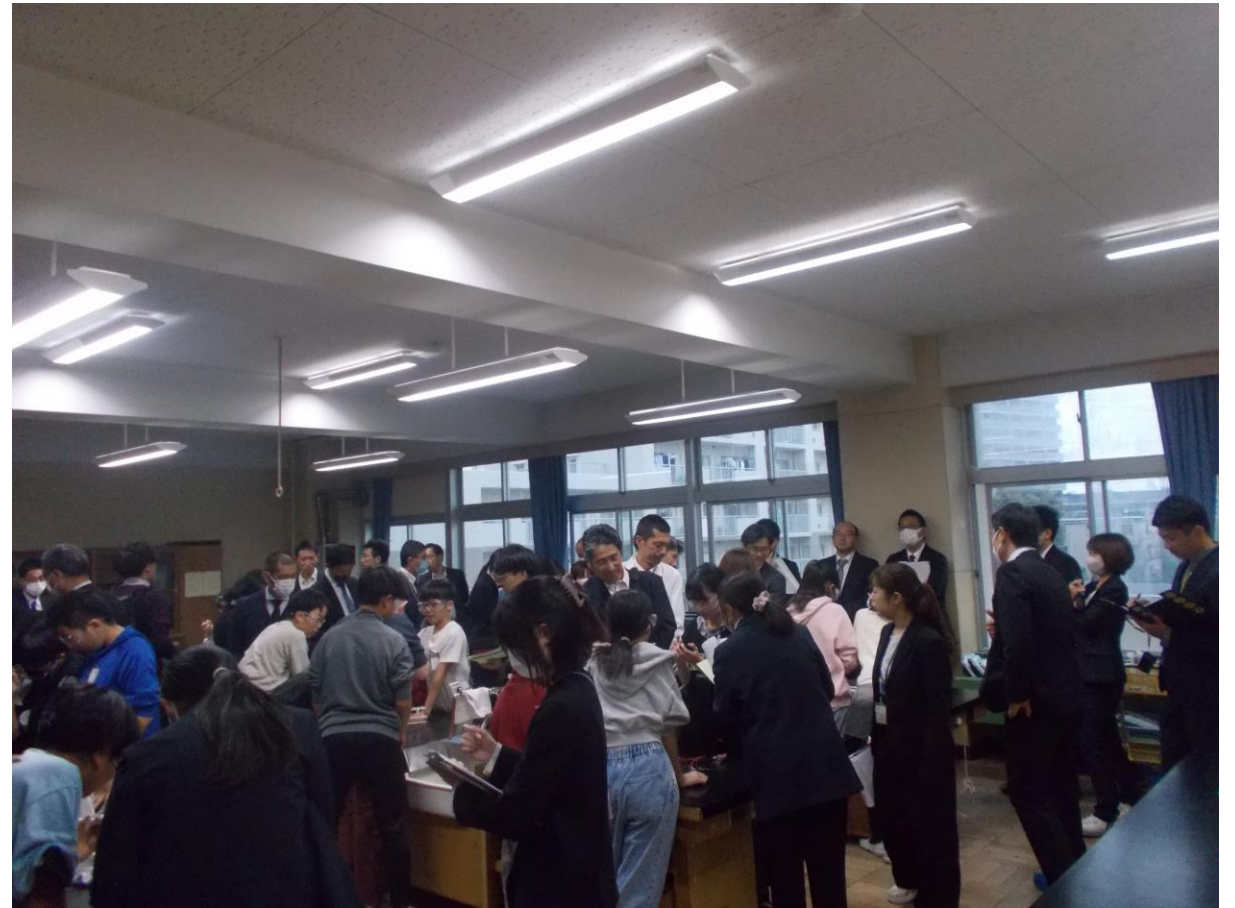
# <第5学年「物のとけ方」柴田教諭>

- ・ 比較しやすい単元構成
- ・ 考えをより良くしていく話し合い



# < 第6学年「水溶液の性質」 高野教諭 >

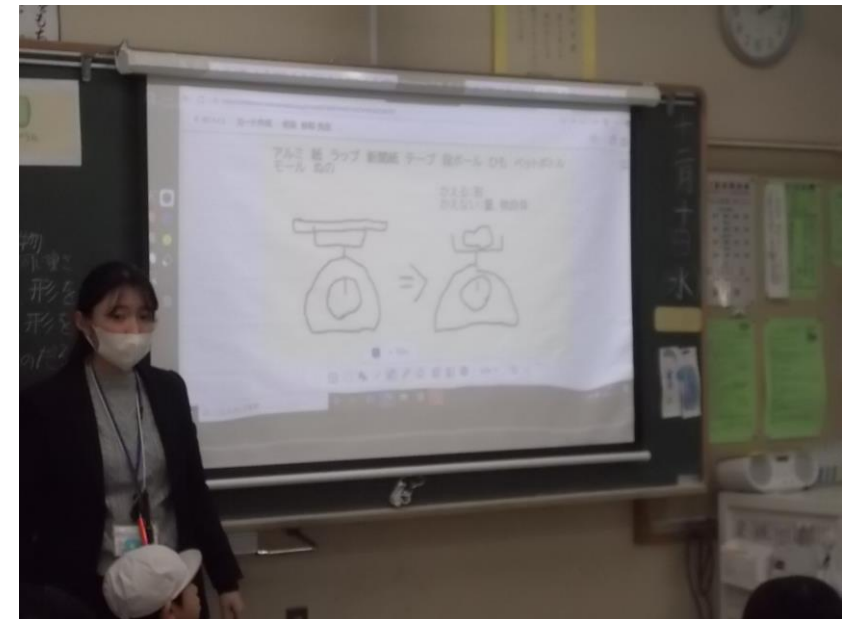
- 「ずれ」について対話
- 児童主体の問題解決
- 自分の考えをもつ



「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

## 2 研究授業のまとめ (成果と課題)

- **日 時：令和7年12月10日（水）第5校時**
- **授業者：依田紗和**
- **単元名：物の重さ**



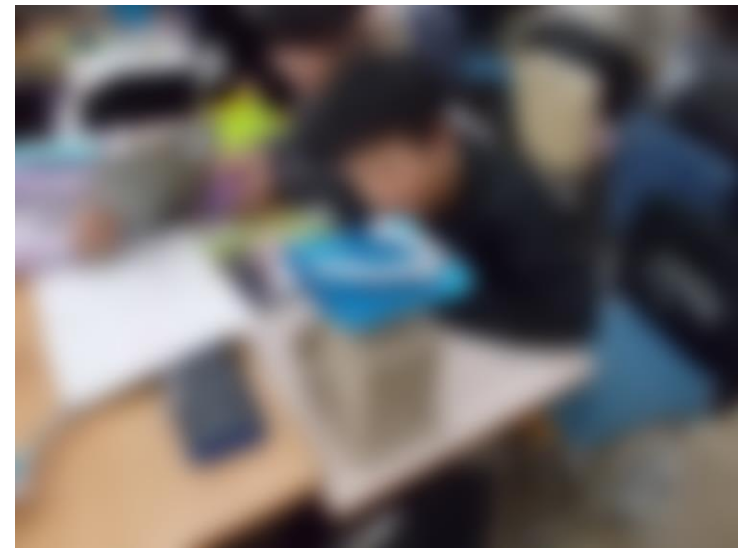
# 研究主題とのかかわり（「主体性」の手立て）

- ・ 既習事項と比較しながら共通点や差異点に着目し、問題を明確に捉える。
- ・ 実験方法を考える中で、条件整理の視点から問題を解決できるかどうかを批判的に思考する。



## ○成果

- ・ 体験的な事象提示によって自分事として問題に向かうことができた。
- ・ 多くの実験道具から「物」の性質を捉えることができた。



## ●課題

- ・「自分で考える」の効果的な活用。
- ・実験道具として適しているかの吟味
- ・予想と実験の結び付け

「内谷中学校区の9年間を見通した小・中一貫カリキュラムの研究  
～試行錯誤しながら、粘り強く学習に取り組む児童の育成～」

# 3 理科の授業と つけたたい力の関わり



## 【問題解決の流れ】

- ① 問題を見いだす
- ② 予想をする
- ③ 実験方法を考える
- ④ 実験をする
- ⑤ 結果の共有
- ⑥ 考察する
- ⑦ 結論を出す (まとめ)
- ⑧ 振り返りをする

問題を見いだす→自分事になる

①事象提示 工夫

②問題を見いだす前の議論

③教材解釈（揭示物の整理）

主体性

問題を見いだす→自分事になる

①事象提示 工夫

②問題を見いだす前の議論

③教材解釈（掲示物の整理）

問題を見いだす→葛藤する

①事象提示 工夫

②問題を見いだす前の議論

③計画

④実験

やりながら次の問い 追加実験

試行錯誤

主体性